

# 臺灣大學・九州大學人文學術交流會 「從人文學看東亞」



2017年5月6日，臺灣大學・九州大學人文學術交流會「從人文學看東亞」於臺灣大學文學院會議室舉行。交流會由九州大學久保智之教授的開幕詞揭開序幕，久保教授提及近年來世界上的基礎學問研究可謂為遭遇危機，唯有能立刻起到實質作用的學問或短時間內能獲得成果的研究才能優先受到重視。去年獲得諾貝爾獎的大隅氏也曾提到「只將重點放於數年內獲得成果的研究現

況，這對未來的日本的科學發展是相當大的損失。」而我認為所有的學問都適用這句話。很榮幸能與台大共同舉辦本次學術交流會，就國際學術交流的層面來說也是十分具有意義。

2017年5月6日、「人文学からみる東アジア：台湾大学・九州大学人文学学术交流会」が台湾大学文学院会議室にて開催された。開会の辞では、九州大学久保智之教授より「近年、世界中で基礎研究は危機にあると言われ、すぐに役立つ学問や成果の出る研究が優先されている。去年ノーベル賞を受賞した大隅氏は『答えがすぐに出る研究に追われることは、将来の日本の科学にとって大きなマイナスだ』と述べたが、これは学問全般に言える。

**從人文學看東亞**

臺灣大學・九州大學人文學術交流會

主辦單位：臺灣大學日本研究中心  
臺灣大學日本語文學系  
九州大學人文科學研究院

NTU CJS

時間：2017年5月6日（六）  
地點：文學院會議室

專題演講  
發言人：久保智之（九州大學人文科學研究院院長）  
講題：言語學から見た東アジア

論文發表  
發言人：徐國勳（臺灣大學日文系教授兼日本研究中心主任）  
講題：徐中江與江中道（徐中江の學問「中國文學」の形成と展開について）

發言人：藤森雅子（九州大學人文科學院博士後課程2年）  
講題：北平における九州大学の台中学習交流 ―― 留學経験「北平」から見た「東洋」

發言人：北之之路（臺灣大學日文系文學系博士）  
講題：日治時代における台日間の関係 ―― 留學経験から見た「東洋」

發言人：熊谷正樹（臺灣大學日文系教授兼日本研究中心執行委員）  
講題：日治時代の「中心」をめぐって

發言人：劉龍君（臺灣大學歷史系博士）  
講題：近代東亞知識階級の文化交流：以歐陽欒氏を以て

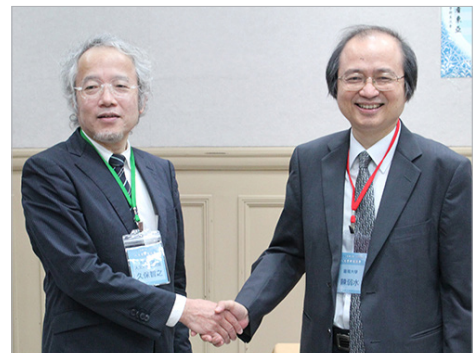
發言人：田上雅俊（九州大學人文科學院教授）  
講題：近代東亞における北九州の集約的変遷

發言人：川平智文（九州大學人文科學院教授）  
講題：ひらがなの漢字・仮名遣とその思想

發言人：村上麗子（九州大學人文科學院博士後課程3年）  
講題：留學の交響 ―― 近代期における『知識階級』の交響を中心に――

況，這對未來的日本的科學發展是相當大的損失。」而我認為所有的學問都適用這句話。很榮幸能與台大共同舉辦本次學術交流會，就國際學術交流的層面來說也是十分具有意義。

今回、この人文学交流会に参加できたことは光栄なことであると同時に、国際的な学术交流を図るという意味でも大いに意義深い」と述べ、また本センター徐興慶主任より「大学院生の発表会を楽しみにしていた。



▲（右）陳弱水院長與（左）九州大學人文科學研究院院長合影

# 台湾大学・九州大学人文学術交流会 「人文学からみた東アジア」

2017.05.06

2



本中心徐興慶主任也表示相當期待本次的研究生發表。雖然每個人的發表時間不長，但還是期待本次大會能夠成為大家發揮各自所長的充實交流會。並希望發表會後能夠將發表成果彙整成冊，作為日本學研究叢書出版。

本次交流會由久保智之（九州大學）與徐興慶教授（台灣大學）的專題演講開場，分為三個場次，共有八篇論文發表。交流會主題為與日本、台灣、中國相關之文化與文學，各發表均有許多的提問與建議。最後則由台灣大學范淑文教授致上閉幕詞，本次交流會正式落幕。◆

短時間ではあるが、それぞれが自分の力を発揮してほしい。また発表して終わりではなく、その成果をいつか1冊の日本学研究叢書としてまとめた」との挨拶があった。

本交流会は、久保智之教授（九州大学）と徐興慶教授（台湾大学）による基調講演に始まり、その後3つのセッションに分かれて8名の論文発表が行われた。テーマは主に



▲范淑文教授閉幕致詞

日本や台湾、中国の文化や文学に関わるもので、それぞれの発表に対して多くの質問やアドバイスが寄せられた。最後は、台湾大学范淑文教授より閉会の辞があり、本学術交流会は終了した。◆

臺灣大學・九州大學人文學術交流會  
「從人文學看東亞」

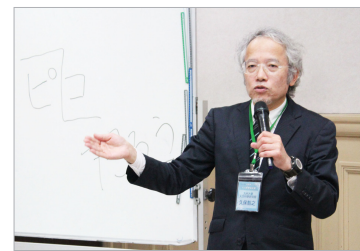
3

近代日本哲學與東亞國際學術研討會 議程

專題講演

講題／テーマ：言語学から見た東アジア

主講人／講演者：久保智之（九州大學人文科学研究院院長）



▲久保智之院長

講題／テーマ：田中江南と立原翠軒の学問 --

「中期水戸学」の形成と関連して

主講人／講演者：徐興慶（臺灣大學日文系教授兼日本研究中心主任）



▲中心主任徐興慶教授

論文發表一

講題／テーマ：北平における九州大学の日中学術交流一

目加田誠『北平日記』を手がかりに

発表者：稲森雅子（九州大學人文科學府博士後期課程）



▲稲森雅子女士

講題／テーマ：日治時代における台湾の囲碁一

当時代の人が碁を学ぶ理由と立場をめぐって

発表者：沈之皓（臺灣大學日本語文學研究所碩士班）

講題／テーマ：女性だけによる宝塚歌劇および中国越劇の比較研究一

成立背景をめぐって一

発表者：顔若仔（臺灣大學日本語文學研究所碩士班）

# 台湾大学・九州大学人文学術交流会 「人文学からみた東アジア」

2017.05.06

4



## 論文発表二

講題/テーマ：円爾の思想－「明心」を手がかりにして－

発表者：曹景恵（臺灣大學日文系副教授兼日本研究中心執行委員）



▲曹景恵副教授

講題/テーマ：古代東亞佛教儀式中的天台文化：以敬禮儀式為核心

発表者：郭珮君（臺灣大學歷史學研究所博士班）

## 論文発表三

講題/テーマ：古代末期における北部九州の集落の変貌

発表者：坂上康俊（九州大學人文科學研究院教授）

講題/テーマ：ひらがなの漢詩－仮名詩とその思想－

発表者：川平敏文（九州大學人文科學研究院准教授）



講題/テーマ：和漢の交響－近世期における『和漢朗詠集』の受容を中心に－

発表者：村上義明（九州大學人文科學府博士後期課程）